

**第6次基山町総合計画策定のための
職員アンケート調査
結果報告書**

令和6年3月

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 実施概要	1
3 調査結果の見方	1
第2章 職員アンケート調査の結果	2
1 あなたのことについて	2
2 基山町について	4
3 協働のまちづくりについて	10
4 まちづくり活動等への参加・参画状況について	13
5 今後のまちづくりについて	16

第Ⅰ章 調査の概要

Ⅰ 調査の目的

基山町では、10年間のまちづくりの道しるべである「第5次基山町総合計画」が令和7年度で終了するため、新たな指針となる「第6次基山町総合計画」策定に向けて取り組んでいます。

このアンケート調査は、まちづくりを主導する町役場職員が業務を行っている中で感じていることやこれからのまちづくりに向けての意見等を把握し、計画策定にあたっての基礎資料とするために実施しました。

2 実施概要

対 象	調査期間	方 法	配布数	回収数	回収率
町役場職員	令和5年10月24日(火) ～11月17日(金)	庁内配布・回収	200	187	93.5%

3 調査結果の見方

- 集計結果のグラフのn値は、当該設問の回答者数を示しています。
- 集計結果における“無回答”とは、当該設問への回答なしの他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定質問」があり、その場合の「合計」は全体より少なくなっています。
- 集計結果のグラフ・表における比率（％）は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- 設問には1つだけ答えるものと複数回答のものがあり、複数回答の設問では、表記の比率の合計は100%を超えます。
- 表中の数値の各セルの上段は回答者の実数、下段は比率（％）を示しています。
- 表における  表示は、その種別の第一位の項目（無回答を除く）を示しています。
- 記述回答について回答者から複数の意見がある場合、内容ごとに集計しているため、回答者数と意見件数が異なる場合があります。

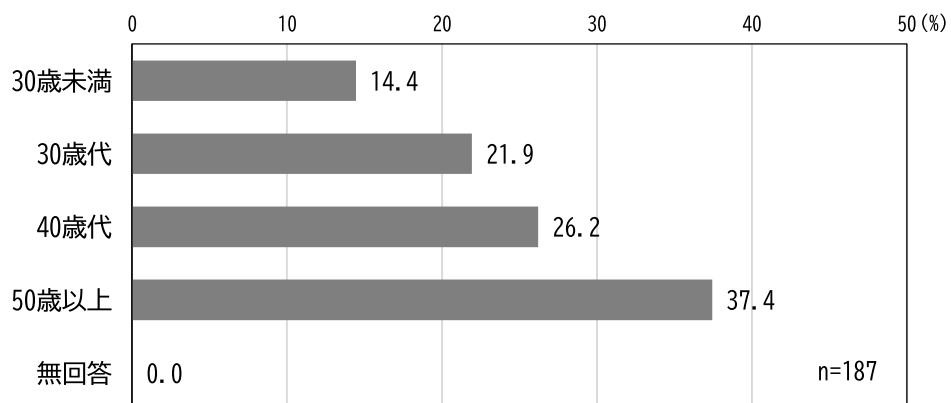
第2章 職員アンケート調査の結果

Ⅰ あなたのことについて

① 年齢

問1 あなた年齢をお答えください。

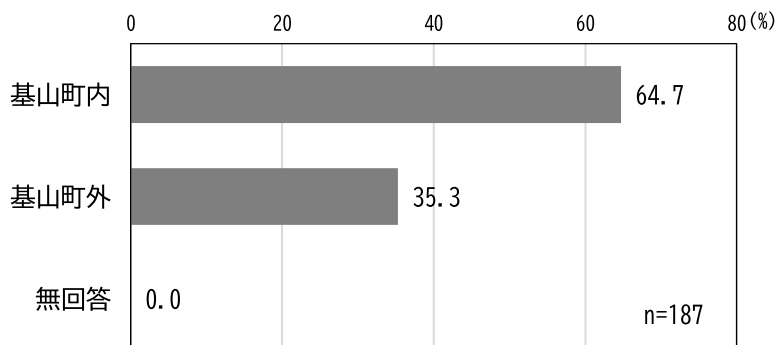
- 「50歳以上」が37.4%で最も高く、次いで「40歳代」が26.2%、「30歳代」が21.9%、「30歳未満」が14.4%で最も低くなっています。



② 居住地

問2 あなたのお住まいはどこですか。

- 「基山町内」が64.7%、「基山町外」が35.3%となっています。
- 年齢別では、どの年齢層も「基山町内」が高く、特に“50歳以上”では75.7%と高くなっています。また、“30歳未満”及び“30歳代”は「基山町内」が50%台で、特に“30歳代”は「基山町外」と大差ない割合となっています。



		合計	問2 お住まい		
			基山町内	基山町外	無回答
全体		187 100.0	121 64.7	66 35.3	0 0.0
年 齢	30歳未満	27 100.0	15 55.6	12 44.4	0 0.0
	30歳代	41 100.0	21 51.2	20 48.8	0 0.0
	40歳代	49 100.0	32 65.3	17 34.7	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	53 75.7	17 24.3	0 0.0

- 居住地別に年齢構成をみると、“基山町内”は「50歳以上」が43.8%で最も高く、「40歳代」と合わせると70.2%となります。一方、“基山町外”は「30歳代」が30.3%で最も高く、「30歳未満」と合わせると48.5%となり、“基山町内”の29.8%に比べ18.7ポイント高くなっています。

		合計	問1 年齢				
			30歳未満	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
全体		187 100.0	27 14.4	41 21.9	49 26.2	70 37.4	0 0.0
居住地	基山町内	121 100.0	15 12.4	21 17.4	32 26.4	53 43.8	0 0.0
	基山町外	66 100.0	12 18.2	20 30.3	17 25.8	17 25.8	0 0.0

2 基山町について

① 基山町のいいところや魅力

問3-① 基山町のいいところや魅力は何か、簡潔に3つまでお答えください。

- 187人から無回答を除くと487件の記述があり、その中で最も多いのが「立地・交通の利便性」で170件、次いで「豊かな自然」が102件と続きます。

項目	1つ目	2つ目	3つ目	計
立地・交通の利便性	94	51	25	170
豊かな自然	43	44	15	102
住環境・利便性	9	22	22	53
コミュニティ・町民気質	10	15	19	44
コンパクトシティ	15	8	10	33
子育てのしやすさ	9	12	11	32
町の規模	8	8	7	23
歴史・文化	3	11	5	19
行財政	0	2	1	3
安全・安心	1	0	1	2
その他	1	1	4	6
計	193	174	120	487
無回答	2	19	67	88

意見例

立地・交通の利便性

- 福岡都市圏に近い ○福岡市内への通勤圏内 ○都市部に近い（通勤・通学に便利）
- 福岡県に隣接している ○交通の便が良い ○空港や福岡都市圏に近い ○立地の良さ
- JR、高速バス等がある ○鳥栖・筑紫野・久留米等の近隣商業施設まで近い
- 交通アクセスが良く、移動コストが低い ○各県にアクセスしやすい ○駅が近い
- 鳥栖JCTが近い ○基山駅に快速電車が停車する ○高速バスの乗り継ぎ拠点
- 交通アクセスや、近隣に商業施設が充実しており立地がよい ○町外への交通の便が良い
- JR、高速道路、甘木鉄道など利用しやすい ○国道3号線、県道17号線、JR、甘木鉄道、鳥栖JCT等があり、交通の利便性が非常に高いところ ○道路が渋滞しにくい
- 普段の生活で渋滞に遭わない

豊かな自然

- 自然が多い ○緑が多い ○春はツツジ、秋は紅葉と四季を感じることができる
- 基山を始めとする緑や田園、秋光川などの河川 ○景色がきれい ○自然環境がよい
- 程よく農村の風景が残っており自然豊かなところ ○自然豊かで心が癒される ○情景
- 自然にふれられるところが多く、のびのびと生活できる ○緑が多くて空気がきれい
- 農村部や森林も残っており、自然も体験できる ○四季が楽しめる場所 ○草原100選

意見例	
住環境・利便性	○近隣市も含めて、生活便利施設が身近な場所に揃っている ○公共施設が充実している ○町の周辺に色々魅力的な施設がある ○買い物が便利 ○病院が多い ○住環境が良い ○道路整備がされて運転しやすい ○のどか ○図書館、保育園の建物がよい ○公共施設がきれい ○広々としているところ ○道路にゴミが落ちないキレイなところ ○道路、公園などきれいに清掃・整備されていて町がきれいである ○町がきれい ○けやき台の勢いがある ○人混みがないところ ○生活圈と里山が近く自然を身近に感じながら生活ができること ○環境（ほどよい自然と都市空間のバランス）
コミュニティ・町民気質	○地域の連帯感 ○地域活動が盛ん ○町民のまちづくりに参加する機会が多い ○風土 ○町民活動団体や地域コミュニティ等の団体に所属している町民が多いところ ○郷土愛 ○一年を通して、住民参加型のイベントが多く地域のつながりが強い ○地元に根付いた人間が各地域の伝統を守っている ○基山（キザン）への熱い思い ○学校や地域の行事に関して地域の方が協力的 ○スポーツが盛んで、子どもの見守り力がすごい、基山愛のある人が多い、まじめな町民性 ○人とのつながりがみえる ○人柄が温かい ○人が優しい ○住民の元気・活力がある ○協力的
コンパクトシティ	○コンパクトな町 ○日常生活に必要な施設がコンパクト（自転車・徒歩圏内）にまとまっている ○コンパクトな町なので、町民と行政との関わりが密接に感じられる ○コンパクトシティ（国道3号沿いに約7割の住民が生活している） ○自然と共存しつつ都市機能が集約されたコンパクトシティ ○コンパクトな町のために日常生活に必要なスーパーや商店街がすぐ近く、町民会館や体育館、公園等の公共施設も充実しているところ ○歴史、自然、産業（農業・工業）が共存し顔が思い浮かぶほどよい人口のコンパクトにまとまった町であること
子育てのしやすさ	○子育てしやすいところ（多目的公園がある、乳幼児健診の回数が多い、子どもの医療費が無料など） ○子育て支援が手厚い（医療費や給食費の助成等） ○子育てに力を入れている ○母子活動が近隣地区よりきめ細かくフォローしている ○子育てのフォローがある（妊娠中からサポートしている） ○妊娠から学生までの長期にわたる、子育て施策が充実している ○教育関係の充実 ○大きな公園、住宅地周辺の小さな公園と子どもが遊べる所が多い ○子育て支援（高校まで医療費全額助成等）
町の規模	○都会すぎず、田舎すぎずちょうど良い ○広すぎず狭すぎず ○ちょうど良か町きやま（位置・環境・都市へのアクセス等） ○大きすぎず小さすぎず（出来れば人口2万人）、物事を対応しやすい町の規模 ○人口が程よいところ ○ほどよい人口（町民運動会ができる顔が見える行政の最大レベル） ○程よい人口～歴史や伝統を知る地元民もおりつつ新たな住民も増え町民全体に施策が届く人口規模
歴史・文化	○続100名城 ○格の高いお寺が多い所 ○国の特別史跡である基肆城跡があること ○日本最古がある。日本一もある ○四大売薬がある ○昔ながらの伝統行事がある ○町をはじめとして、各地区のお祭りなどのイベントが盛ん
行財政	○行政と町民の距離感が近いところ ○役場職員が明るく丁寧に対応してくれて相談がしやすい（妹の意見） ○財政力指数が県内において上位であること

意見例	
安全・安心	
☐	大きな地震や災害（洪水被害等）が少なく住みやすい
☐	治安が良い町
その他	
☐	漫画キングダムとの繋がり
☐	豊富な観光資源
☐	農作物が豊富

② 基山町に足りないところや弱み

問3-② 基山町に足りないところや弱みは何か、簡潔に3つまでお答えください。

- 187人から無回答を除くと354件の記述があり、その中で最も多いのが「商業・娯楽施設」で57件、次いで「移動手段・交通の便」が45件と続きます。

項目	1つ目	2つ目	3つ目	計
商業・娯楽施設	31	20	6	57
移動手段・交通の便	20	15	10	45
コミュニティ・町民気質	9	12	12	33
行財政運営	10	13	8	31
観光関連	15	10	3	28
土地利用・住宅関連	10	14	2	26
医療機関	16	6	4	26
人口、人材	10	6	7	23
魅力、印象	14	4	0	18
福祉	7	5	1	13
情報発信・PR	9	2	0	11
産業・雇用	6	3	2	11
地理・交通アクセス	5	6	0	11
教育・文化	2	3	3	8
その他	2	5	3	10
ない	3	0	0	3
計	169	124	61	354
無回答	20	63	126	209

意見例

商業・娯楽施設

○商業施設 ○スーパーはあるが衣類等の買い物等が自己完結できない ○大型ショッピングセンター（イオンモール、コストコ等） ○ファミレス ○気軽に寄れる食堂
 ○近隣に便利な都市があることが強みでも、そのせいで買い物等、町外に利便性を求めてしまいがちになるところが弱みかと ○飲食店、小売店が少ない（道の駅などが出来れば立ち寄る人が増えると思う ○魅力的な店舗 ○基山駅から東側に店舗（コンビニを除く）が無いこと ○駅周辺に売店やコンビニなどがあるととても便利 ○町内で完結できる店舗・施設（買い物、病院、ファミリーレストラン、カフェ） ○娯楽施設がないこと
 ○若者にウケるスポットがあまりない気がする ○本屋や映画館などの施設がない

移動手段・交通の便

○自家用車を利用できない時の交通手段 ○車がないと生活するのが不便 ○車に乗らない高齢者の買い物に不便 ○住宅地と公共施設を結ぶ公共交通の連携がまだ弱い
 ○山間部やけやき台に住む高齢者の暮らし（中心地から離れると暮らしにくい） ○観光客が手軽に利用できる交通網が少ない ○コミュニティバスの本数や経路が限られている
 ○買い物弱者への支援・コミュニティバスの路線拡大、宅配サービスの提供など ○町内移動 ○車社会のため、一度大会等を行うと想像以上の駐車場が必要になりそのため整備するとなるとコストがかかる

意見例
コミュニティ・町民気質 ○町内イベントに企画・参加する人が固定化していること ○新しく入ってきた移住者が町の行事に参加するきっかけづくり ○自己肯定感 ○自己主張 ○個人個人は面白い活動をしているが、それを繋げるような人（キーパーソン）がいない ○町民の主体的な行政参画 ○次世代の担い手（〇〇推進委員会など） ○新しく基山に住まれる方が増えたりなどの変化を望まない住民もいらっしゃるのでは ○個人主義の進展やコミュニティの帰属意識の希薄化への不安 ○転入者の行政組合未加入、地域行事の不参加 ○町民活動団体や地域コミュニティ等の団体に所属していないと孤立しやすいところ ○昔ながらのしきたりやしらがらみが残っていて、そとモノ、若者の意見が言いにくい（通りにくい）ところがある ○自治会の自主性があまり感じられず、町主導に依存しているように思える ○新規住民が地元意識が希薄であり、今後基山の良さが失われていく ○地域行事の多さや活動への負担 ○地元意識が強い（変化を嫌う）
行財政運営 ○旧基山保育園を活用していない ○近隣自治体に比べて公共施設の維持管理が行き届いていないのが目に付く ○維持よりも開発・発展に価値が置かれているところ ○ゴミ袋のサイズ ○何をやりたいかよく分からない事業が多い ○変化対応力 ○行きすぎたシルバー民主主義 ○若者の視点 ○人権や多様性を尊重する視点 ○長期的・客観的な視点 ○民間力の活用があまりないように感じる（直営でやっている事業が多い） ○役場の職員数（住民満足を得るための施策を実施するマンパワーが足りない。職員の努力だけではどうにもならない） ○政策等の企画力 ○ソフト面が今一つ ○施設等の整備（道路、下水道、街灯） ○近隣市町との共存共栄 ○施設等の老朽化 ○まちづくりに対する覚悟（場当たりの小手先だけの手法ではなく、計画策定、大規模投資を行う） ○山間部への支援（道路、下水、防災）
観光関連 ○近隣に大型観光施設はあるが、町内に足を運んでもらう場所が少ない ○宿泊施設がない ○集客力のある観光名所 ○若者が好んで訪れるような観光スポットやお店が少ない ○イベントの際に、町内の店の閉店時間や土日休店など、観光・集客には弱い ○観光資源 ○お土産物が少ない ○観光資源を生かし切れていない
土地利用・住宅関連 ○1・2・3・6区の山側の放置 ○農業、宅地や企業誘致など有効的に使える土地が少ない ○子育て世代等が家を購入する目安である大規模な新興住宅地開発が少ない ○広い公園 ○交通の便がいいがゆえに、土地単価が高い ○住宅開発がバラバラにされており、30年後の将来の町の形がイメージされない ○3号線より東側の発展 ○国道3号以東の行政施設（拠点） ○若年層や高齢者かつ低所得者向けの築浅の公営住宅がない（ユニットバス、バリアフリー、フローリング） ○空き家や空き店舗が多い ○家族向けアパートが少ない
医療機関 ○医療機関（小児科、産婦人科、専門的な診療科） ○総合病院、救急医療が身近になく不便である ○2次病院が無いこと
人口、人材 ○高齢者率が高く、伝統行事やイベントの参加や承継 ○農業や伝統行事などの後継者不足 ○全ての分野における担い手不足 ○人口ピラミットで70歳代前半の年齢層が特に多くなっており、様々な行政サービスを実施していく上で注意が必要 ○地域ごとの人口構成に偏りがある ○高齢化（特にけやき台エリア） ○若者の地域定着、進学や就職での流失 ○人口が少ない ○転出が多いため、人口増加につながらない ○中山間地域の少子高齢化

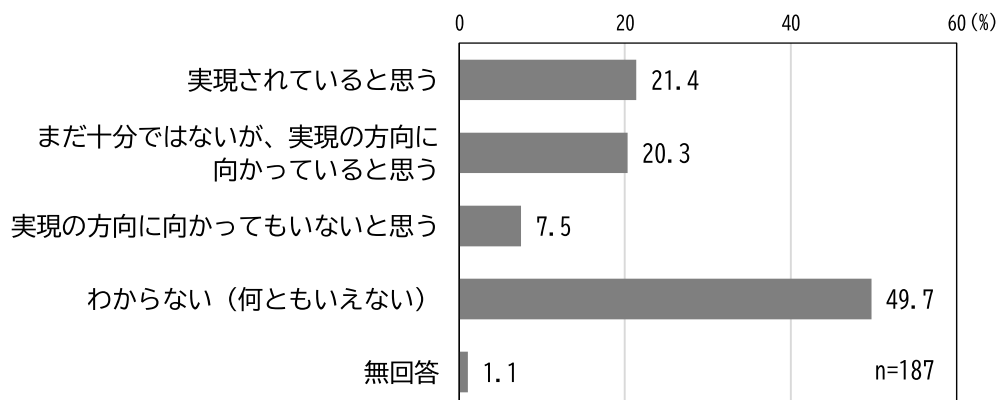
意見例	
魅力、印象	○インパクト（大きなセールスポイント）が足りない ○町の特産品（エミュー、キクイモ）が特産品としてのインパクトに欠ける ○基山町はこれだという象徴がない ○特産品 ○知名度が低い ○外に強くPRできるものがない ○田舎をブランド化できていない（道の駅がない、古民家風のカフェがない） ○基山ブランド、アイデンティティ（基山町を誇れる建物や自慢できる祭、シンボル、日本一又は九州唯一的なもの） ○ランドマーク的なものが弱い ○基山の名物がない
福祉	○福祉や子育てなどのサービスはあっても制度的にハードルが高く使いづらいものが多い ○子育て支援に力をいれているが、受け入れる場所は少ないのでは（保育園、幼稚園） ○子どもの人数に対して、保育士が少ない ○「病児」保育施設 ○老後の介護施設が少なく介護生活に不安がある ○高齢者の生活支援
情報発信・PR	○地元産業のアピール ○観光名所はあるがインバウンド等へのPRができていない ○効果的なPR ○基山町はよい所がたくさんあるのに宣伝が上手でない ○福岡都市圏に近いことを知られていない ○実際に住んでいる方（新旧）の基山町の良さの正直な意見、発信 ○情報がわかりにくい
産業・雇用	○農業や林業などの後継者不足 ○農業しづらい状況にある感じがするところ ○雇用の場（企業）が少ない ○若者が好む就職先が少ない ○商工をもう少し盛んにし、活性のある町づくり
地理・交通アクセス	○町外の方から交通の通過点と思われがちなところ ○南北に主要道路や鉄道があるが、通り道となっており町外・県外の人を足止めするものがない ○人が通り過ぎていく町のイメージがある ○国道3号線があるのに福岡や佐賀への通り道になっている ○基山町は通過点でしかない（県外人には「基山サービスエリア」の知名度は高いが、それしか知られていない） ○交通の便が良いのに、それを生かしていない ○福岡都心から好立地場所にあるが、活かさきれていない ○佐賀県に属していること
教育・文化	○教育環境 ○基山小の子どもの人数が多い ○高等教育機関がない ○異文化交流 ○子どもがボール遊びなどをする場所がない（ただの広場的なものとか） ○自由にスポーツが出来る施設が少ない（町民プールなど） ○サブカルチャーで推しているのがキングダム一辺倒（県のようにもっと大きく考えてよいのでは） ○文化芸術活動への理解
その他	○空気が良くない（PM2.5、黄砂が多い）（高速の排気ガス） ○閉塞感 ○一部の人しか活用できていない施設があってもったいない ○民間活力の不足 ○町を歩く人の数や夜間の歩行の明かりと車の運転マナー ○自然が豊かであるが、自然災害も多い ○上町踏切が狭い ○子どもの遊べる施設が少ない ○福岡県に隣接はしているが、福岡県の隣接地域の情報量が少ない ○生活環境はよいが、まだ住み良いとは言えない

3 協働のまちづくりについて

① 協働のまちづくりの実現度

問4 「基山町まちづくり基本条例」が施行され12年が経過し、「基山町のまちづくり基本条例」に基づいた協働のまちづくりを進めています。この協働のまちづくりについて実現されていると思いますか。

- 「わからない(何ともいえない)」が49.7%で最も高く、「実現されていると思う」(21.4%)と「まだ十分ではないが、実現の方向に向かっていていると思う」(20.3%)が同程度になっています。一方、「実現の方向に向かってもないと思う」は7.5%となっています。
- 年齢別でも居住地別でも、「わからない(何ともいえない)」が最も高く、年齢別では“30歳未満”(66.7%)と“30歳代”(61.0%)が60%を超えて高くなっています。また、「実現されていると思う」は、年齢別では“30歳未満”(25.9%)と“50歳以上”(25.7%)が他の年齢層より高くなっています。
- 「実現の方向に向かってもないと思う」は、年齢別では“40歳代”(12.2%)が、居住地別では“町内”(9.9%)が高くなっています。



		問4 協働のまちづくりは実現されていると思いますか				
合計		実現されていると思う	まだ十分ではないが、実現の方向に向かっていていると思う	実現の方向に向かってもないと思う	わからない(何ともいえない)	無回答
全体		187 100.0	40 21.4	38 20.3	14 7.5	93 49.7
年齢	30歳未満	27 100.0	7 25.9	2 7.4	0 0.0	18 66.7
	30歳代	41 100.0	8 19.5	4 9.8	3 7.3	25 61.0
	40歳代	49 100.0	7 14.3	10 20.4	6 12.2	25 51.0
	50歳以上	70 100.0	18 25.7	22 31.4	5 7.1	25 35.7
	基山町内	121 100.0	28 23.1	25 20.7	12 9.9	55 45.5
居住地	基山町外	66 100.0	12 18.2	13 19.7	2 3.0	38 57.6

② 協働のまちづくりが実現されていないと思う主な理由

※問4で「2」または「3」を選んだ方への質問です。

問5 協働のまちづくりが実現されていないと思う主な理由・具体的例をご記入ください。

- 「2」または「3」の選択者は52人で、そのうち記述なしの9人を除く43人から45件の記載がありました。

意見例	件数 (件)
役割分担が不明確 ○どんな姿が「実現された姿」なのか、わからない ○公助に頼りすぎて、自助・共助が確立できていない ○協働の町づくりの実現のために行政の負担が以前よりも増加しているように思われる ○（組織としての）役場と住民との関係が対等ではないように感じることもある。また、協働の考え方として役場と関わらないという関係性も認められるべきところが、役場に見える範囲で捉えがちになっていると思う ○まだ行政主体のまちづくりが多く、理念である町民全体の町づくりにはなっていないと思う ○キャッチフレーズばかりが立派で伴っていないから ○協働のまちづくりに対する共通認識であった、ルール作りはまだ十分には確立されていない。出来ている分野と不十分な分野がある ○施設管理や修繕においても行政頼りのものがあったり、行政がやるべきことでも地域まかせであったりするところがある ○近年、町民の高齢化や多様な考え方・価値観の相違から自助・共助・公助のバランスが崩れ、公助のウエイトが高まりつつある。改めて役割分担を検討する時期がきている ○例えば高齢者の見守り等に関して、他自治体の対応策の良いところを導入して基山スタンダードを作成・実施等、民生委員のみに頼るのではなく組織で対応するという意識を持って動くようになってくるように思う ○町は町民任せ、町民は町任せな部分があり、両者の役割分担が具体的に明確化されていないため、同じ方向を向いてはいるものの協働のまちづくりが実現できていない部分があると思う ○協働は、行政と住民が対等な立場で、共に手を出して様々な課題を解決に向けて進むことで、一言で言えば、昔返りなのに、行政がやることばかりが増加しているように感じる。まずは、行政と住民、双方が考え方を変えなければ進まない ○高齢化や少子化で行政がやる部分が多くなってきているため ○協働で行うということと事業を進めた時に民間から役場は民間に任せすぎといった意見がよく出る。民間の方が思う協働を実現する必要がある ○行政に頼っているところがまだある	15
行政への要望が多い ○町民と行政の協働ではなく、行政に要望するだけの仕組みになっているように思える ○協働のまちづくりと言っても、町への要望が多い ○町に対する要望等が多くなっており、地域で出来ることも実施されていない ○町づくり提案が要望ばかりで前向きな要望が少ない ○まちづくり提案のほとんどが、当初の趣旨と異なり要望書になってしまっている。協働推進のための町と対等なパートナーとなりえる段階が少ない・自立していない ○町への要望や陳情が言いやすくなったが、町民自ら動こうという姿勢があまり感じられない ○協働の仕組みとして掲げている「町民提案制度」は単なる要望事項が多く、「まちづくり計画の策定」はなかなか策定数が伸びない ○「言えば良い」との、町への一方的な要望、意見も多く、町民の一部の民度が低下していると感じられるため	8

意見例	件数 (件)
行政に関する意識が不十分	8
○課題や困りごとを住民で良くしていくという認識が薄く、また、そのための足掛かりが少ない ○若い方の参画が少ない ○協働の町づくりが、住民に十分理解されていない ○実施はされているが浸透していないところがある ○住民が基本条例に対する知識が不足している ○基山町総合計画はとてもよく考えられているが、この計画の知名度、浸透度がもう少し高まるような手立てが必要ではないかと思う ○各種施策に対し、住民の意見が十分に反映されているのか疑問。また、町民自身も協働という意識が足りない（役場だのみ）と感じる部分があるため ○町民に内容が浸透していないのではないかと	
協働のための環境が不十分	3
○個人で参画できるイメージがなく、「まちづくり」を気軽に感じられない雰囲気がある（特定の団体に所属して人間関係をやっていくのが面倒、責任が重そう、関わったら離れるのが難しそう、など）・町のことをよく知っていないと出来ないと思ってしまう ○活動拠点整備が出来ていない ○次世代の担い手不足が進行し、特に若者のまちづくり参加意欲は低下していると考ええる。各種委員の高齢化や同一人物による兼任が目立っているため、時代に合わせやり方を変えていく必要があると考える	
住民意見の反映が不十分	3
○声を上げた人の要望は通りやすいと思うが、そうでない弱者のニーズが拾えていないと感じる ○一部の人による協働になっている ○各種施策に対し、住民の意見が十分に反映されているのか疑問	
コミュニティ意識、地域活動の低下	2
○宅地開発が進み、町外からの転入者が増え、自治会・防災等の地域活動への参加が希薄になっていると感じるため ○「地域のことは地域で」の意識がある方もいるが、その意識・活動が広がらない。また高齢化により、そういう方が減少している傾向にあると思われる	
その他	6
○無関心層を取り入れることは困難だと思う ○協働のまちづくりがされてるという事例がすぐに頭に思い浮かばないこと ○現在のニーズに合う所、少し合わない所があるため ○限られた面積でありながら教育や商業が充実している方だと思う ○若い人が基山で働ける状況が少ない。商店及び飲食店が少ない。高齢者対策を目に見える形にして欲しい ○地域公共交通の利用者が少ない	
合計	45

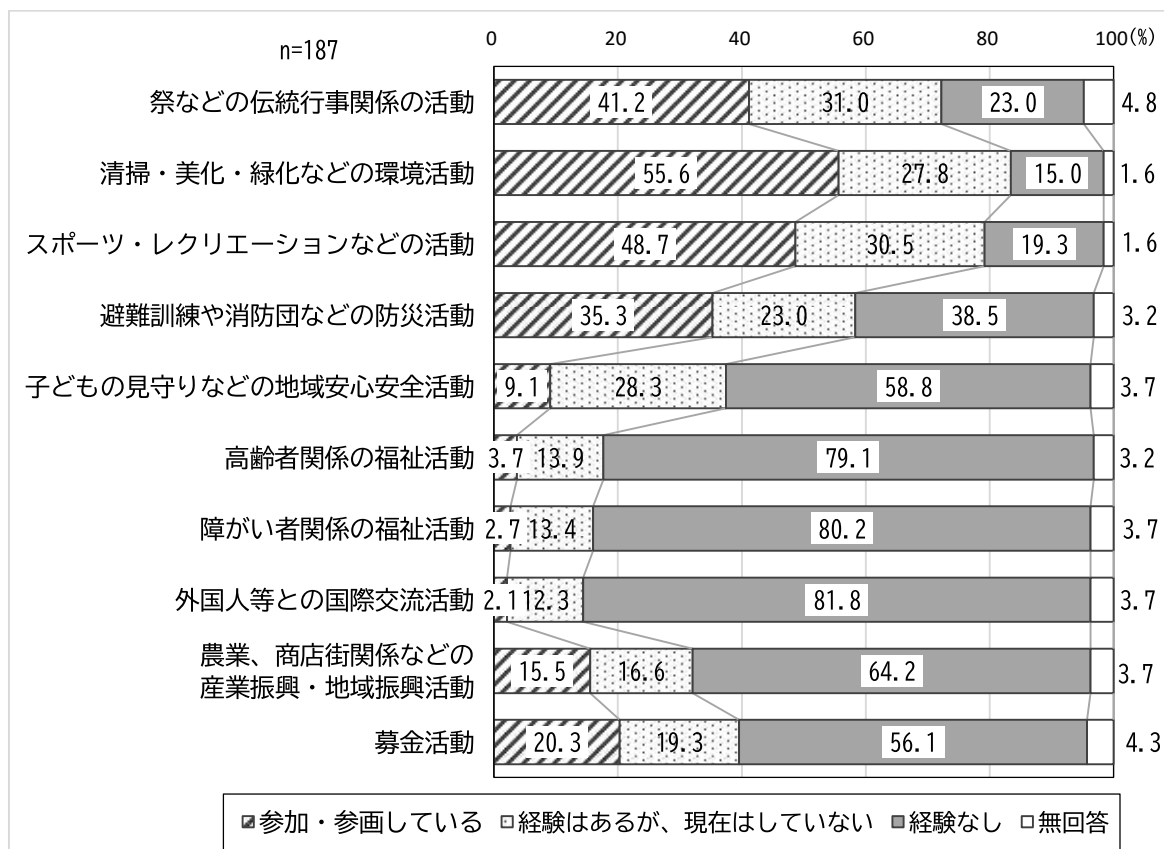
4 まちづくり活動等への参加・参画状況について

① まちづくり活動、地域活動への参加・参画状況

問6 まちづくり活動、地域活動について、あなたの参加・参画の状況を伺います。

各項目について該当するものを1つ選び、○を記入してください。

- 「参加・参画している」が最も高い活動は【清掃・美化・緑化などの環境活動】(55.6%)で、半数を超えています。次いで【スポーツ・レクリエーションなどの活動】(48.7%)、【祭などの伝統行事関係の活動】(41.2%)、【避難訓練や消防団などの防災活動】(35.3%)と続きます。
- 一方、「経験なし」が最も高い活動は【外国人等との国際交流活動】(81.8%)で、次いで【障がい者関係の福祉活動】(80.2%)、【高齢者関係の福祉活動】(79.1%)がおよそ8割と高くなっています。
- 年齢別で「参加・参画している」が50%を超えて高い活動は、“30歳未満”では【避難訓練や消防団などの防災活動】(55.6%)や【祭などの伝統行事関係の活動】(51.9%)、“30歳代”は該当がなく、“40歳代”は【清掃・美化・緑化などの環境活動】(75.5%)や【スポーツ・レクリエーションなどの活動】(53.1%)、“50歳以上”は【清掃・美化・緑化などの環境活動】(65.7%)や【スポーツ・レクリエーションなどの活動】(62.9%)となっています。
- 選択肢以外の活動は3件で、【地域猫活動】、【ボランティア活動】、【基肄城跡文化遺産ボランティアガイド活動】となっています。



		合計	問6 ①祭などの伝統行事関係の活動			
			参加・参画している	経験はあるが、現在はいない	経験なし	無回答
全体		187 100.0	77 41.2	58 31.0	43 23.0	9 4.8
年齢	30歳未満	27 100.0	14 51.9	6 22.2	5 18.5	2 7.4
	30歳代	41 100.0	19 46.3	9 22.0	12 29.3	1 2.4
	40歳代	49 100.0	19 38.8	14 28.6	15 30.6	1 2.0
	50歳以上	70 100.0	25 35.7	29 41.4	11 15.7	5 7.1
	基山町内	121 100.0	61 50.4	35 28.9	18 14.9	7 5.8
居住地		66 100.0	16 24.2	23 34.8	25 37.9	2 3.0

		合計	②清掃・美化・緑化などの環境活動			
			参加・参画している	経験はあるが、現在はいない	経験なし	無回答
全体		187 100.0	104 55.6	52 27.8	28 15.0	3 1.6
年齢	30歳未満	27 100.0	7 25.9	13 48.1	7 25.9	0 0.0
	30歳代	41 100.0	14 34.1	16 39.0	10 24.4	1 2.4
	40歳代	49 100.0	37 75.5	5 10.2	7 14.3	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	46 65.7	18 25.7	4 5.7	2 2.9
	基山町内	121 100.0	89 73.6	26 21.5	5 4.1	1 0.8
居住地		66 100.0	15 22.7	26 39.4	23 34.8	2 3.0

		合計	③スポーツ・レクリエーションなどの活動			
			参加・参画している	経験はあるが、現在はいない	経験なし	無回答
全体		187 100.0	91 48.7	57 30.5	36 19.3	3 1.6
年齢	30歳未満	27 100.0	8 29.6	11 40.7	8 29.6	0 0.0
	30歳代	41 100.0	13 31.7	13 31.7	14 34.1	1 2.4
	40歳代	49 100.0	26 53.1	13 26.5	10 20.4	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	44 62.9	20 28.6	4 5.7	2 2.9
	基山町内	121 100.0	74 61.2	34 28.1	13 10.7	0 0.0
居住地		66 100.0	17 25.8	23 34.8	23 34.8	3 4.5

		合計	④避難訓練や消防団などの防災活動			
			参加・参画している	経験はあるが、現在はいない	経験なし	無回答
全体		187 100.0	66 35.3	43 23.0	72 38.5	6 3.2
年齢	30歳未満	27 100.0	15 55.6	1 3.7	11 40.7	0 0.0
	30歳代	41 100.0	16 39.0	0 0.0	24 58.5	1 2.4
	40歳代	49 100.0	18 36.7	14 28.6	17 34.7	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	17 24.3	28 40.0	20 28.6	5 7.1
	基山町内	121 100.0	49 40.5	33 27.3	36 29.8	3 2.5
居住地		66 100.0	17 25.8	10 15.2	36 54.5	3 4.5

		合計	⑤子どもの見守りなどの地域安心安全活動			
			参加・参画している	経験はあるが、現在はいない	経験なし	無回答
全体		187 100.0	17 9.1	53 28.3	110 58.8	7 3.7
年齢	30歳未満	27 100.0	1 3.7	1 3.7	25 92.6	0 0.0
	30歳代	41 100.0	3 7.3	2 4.9	35 85.4	1 2.4
	40歳代	49 100.0	10 20.4	13 26.5	26 53.1	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	3 4.3	37 52.9	24 34.3	6 8.6
	基山町内	121 100.0	8 6.6	46 38.0	63 52.1	4 3.3
居住地		66 100.0	9 13.6	7 10.6	47 71.2	3 4.5

		合計	⑥高齢者関係の福祉活動			
			参加・参画している	経験はあるが、現在はいない	経験なし	無回答
全体		187 100.0	7 3.7	26 13.9	148 79.1	6 3.2
年齢	30歳未満	27 100.0	0 0.0	1 3.7	26 96.3	0 0.0
	30歳代	41 100.0	1 2.4	2 4.9	38 92.7	0 0.0
	40歳代	49 100.0	3 6.1	8 16.3	38 77.6	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	3 4.3	15 21.4	46 65.7	6 8.6
	基山町内	121 100.0	5 4.1	16 13.2	96 79.3	4 3.3
居住地		66 100.0	2 3.0	10 15.2	52 78.8	2 3.0

		合計	⑦障がい者関係の福祉活動			
			参加・参 画してい る	経験はあ るが、現 在はして いない	経験なし	無回答
全体		187 100.0	5 2.7	25 13.4	150 80.2	7 3.7
年 齢	30歳未満	27 100.0	0 0.0	0 0.0	27 100.0	0 0.0
	30歳代	41 100.0	0 0.0	4 9.8	36 87.8	1 2.4
	40歳代	49 100.0	1 2.0	10 20.4	38 77.6	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	4 5.7	11 15.7	49 70.0	6 8.6
居 住 地	基山町内	121 100.0	4 3.3	14 11.6	99 81.8	4 3.3
	基山町外	66 100.0	1 1.5	11 16.7	51 77.3	3 4.5

		合計	⑧外国人等との国際交流活動			
			参加・参 画してい る	経験はあ るが、現 在はして いない	経験なし	無回答
全体		187 100.0	4 2.1	23 12.3	153 81.8	7 3.7
年 齢	30歳未満	27 100.0	2 7.4	2 7.4	23 85.2	0 0.0
	30歳代	41 100.0	1 2.4	3 7.3	36 87.8	1 2.4
	40歳代	49 100.0	0 0.0	5 10.2	44 89.8	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	1 1.4	13 18.6	50 71.4	6 8.6
居 住 地	基山町内	121 100.0	4 3.3	14 11.6	99 81.8	4 3.3
	基山町外	66 100.0	0 0.0	9 13.6	54 81.8	3 4.5

		合計	⑨農業、商店街関係などの産業振興・地域振興活動			
			参加・参画している	経験はあるが、現在はいない	経験なし	無回答
全体		187 100.0	29 15.5	31 16.6	120 64.2	7 3.7
年 齢	30歳未満	27 100.0	2 7.4	3 11.1	22 81.5	0 0.0
	30歳代	41 100.0	4 9.8	4 9.8	32 78.0	1 2.4
	40歳代	49 100.0	8 16.3	8 16.3	33 67.3	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	15 21.4	16 22.9	33 47.1	6 8.6
居 住 地	基山町内	121 100.0	23 19.0	20 16.5	74 61.2	4 3.3
	基山町外	66 100.0	6 9.1	11 16.7	46 69.7	3 4.5

		合計	⑩募金活動			
			参加・参 画してい る	経験はあ るが、現 在はして いない	経験なし	無回答
全体		187 100.0	38 20.3	36 19.3	105 56.1	8 4.3
年 齢	30歳未満	27 100.0	3 11.1	5 18.5	19 70.4	0 0.0
	30歳代	41 100.0	10 24.4	5 12.2	25 61.0	1 2.4
	40歳代	49 100.0	11 22.4	10 20.4	28 57.1	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	14 20.0	16 22.9	33 47.1	7 10.0
居 住 地	基山町内	121 100.0	25 20.7	29 24.0	63 52.1	4 3.3
	基山町外	66 100.0	13 19.7	7 10.6	42 63.6	4 6.1

5 今後のまちづくりについて

① 「第6次総合計画」をわかりやすく親しみやすい計画にするための改善点等

問7 基山町の最上位計画である「第6次基山町総合計画」をわかりやすく親しみやすい計画にするために、あなたが日頃感じている率直な感想等を踏まえて、改善すべき点やアイデア等がありましたら、ご記入ください。

● 60人から61件の記述がありました。

意見例	件数 (件)
表現手法について	18
○計画名を親しみやすい名前に変更する。子どもでも分かりやすい「こども版」を発行する ○町民の口からパツとでてくるようなキャッチフレーズみたいなものがあつたらいい ○現在の総合計画にもあるが、目標値や指標をわかりやすいものにする ○カラー化、写真、イラストが多くて読みづらいと思うが、若い世代の人向けに導入部分はマンガのような（きやまんと町長が2人で説明する感じ・・・）説明でもよいかと思う ○イラスト・写真等を増やす。動画で作成する ○第5次総合計画について、文章は分かりやすく簡潔に作られていると感じているので、さらに施策をイメージさせるような図が増えると内容がわかりやすくなると思う ○策定を重ねるごとに、分かりやすく、見やすくなっている。基山町の最上位計画であるので、興味のない方にも内容が伝わるように、文字色・太字強調・写真や図にキャプションをつけるなど見やすくデザインする ○第5次基山町総合計画ではデザイン等が重視されており、イメージカラーの黄色など職員にも浸透していないと感じる。第6次では5次の計画から踏襲するものを再度検討する必要があると思う ○ダイジェスト版は図や写真等で分かりやすいが、それでも文字が多い印象 ○文字や文章を減らしイメージ図などを多用すると、年齢を問わず分かりやすく親しみをもってもらえるのではないか ○一見で見てわかりやすく読みやすい文章やデザインでまとめてもらえるといいなと思う。行政の計画は難しい文字が並び量も多いのでなかなか理解しづらいというのが、一般の素直な感想ではないか ○名称（呼称だけでも）をより親しみのあるものに変える。現在のダイジェスト版を住民の方がより気軽に手に取る（読んでみる）ことができるような形で作成する（子育てガイドブックみたいなイメージ） ○文字ばかりで読む気が失せる人もいるかもしれないので、日進市のように漫画バージョンのダイジェストを作成するなど ○図や表による表示を多くし、絵本や漫画のような作りで子どもから大人まで分かりやすいものにする。すごろくのような表示を用いて、目指す目標や目的地までの段階を進捗にあわせて塗れるようなものにして、町民が各自で進捗を確認できるような付箋をつける ○SDGsの17の目標と169のターゲットを取り入れ、各計画にはSDGsのどの分野が当てはまっているかを明確にしたらわかりやすいのではないかと思う ○なるべく冊子の枚数、文字数を少なくして、読んでもらえる工夫が必要だと思う ○あまり分厚いと手にとろうとは思わないので、コンパクトで手に取りやすいデザイン・サイズ感にしたらどうか ○手に取って中身を見たくなるような色やデザイン性。SNSの有効活用	

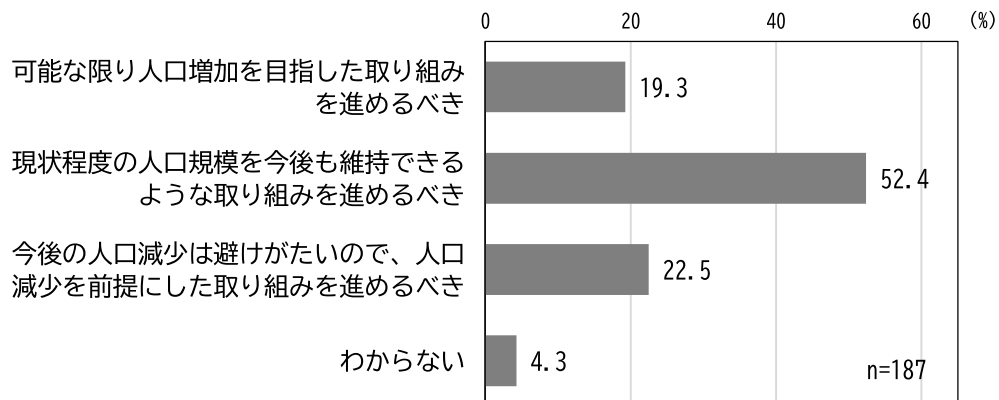
意見例	件数 (件)
計画書の構成・内容について	13
○今は急速に時代が変化しているので、期間10年の総合計画で具体的な内容を決めては時代の変化に対応出来ない可能性があるのでは、総合計画では基山町の将来像だけを決め、施策（基本計画）はあえて策定しなくてもいいのではないかと ○総合計画は、町の最上位計画＝将来目標であるため、個々の具体的な事業や取組ではなく、10年後に向けたまちづくりの大きな方針（方向性）を示してほしい ○町の強みやまちづくりの方向性など、町民に伝えたい事を全面に押し出した構成にする ○総合計画に事業計画を細かく載せた方がいいという意見もありますが、あくまでも大綱的に各区分の全体的な目標等を載せておく位の作りでいいのではないかと思います。今の内容くらいであまり詰め込まなくてもいいのでは ○基山町が目指す将来像を具体的に示すことが大事だと思う。抽象的な事象ではなく、具体的な形で示すことにより町民の皆さんに響くのではないかと ○理想を入れることは悪くないが、現実的に実効性のある計画がよいのではと思う ○近年話題となっているLGBTの問題にも少し触れていると良いのかなと感じる ○基肄城跡文化遺産における地域との連携強化 ○住民の方から言われるのは、いいことばかり書いているが、全く現実とかけ離れているという意見をよく聞く ○これからのことを（将来像）も考えながら作ることも大切ですが、今住んでいる方が必要としている事を具体化していく事も計画にわかりやすく書き込む必要がある ○基山町はコンパクトシティであると思うのでそれを進化させるため、過去の計画データを調べどのように進化して来たのかから、どのように進化していくのかを表現してもよいと思う ○都市アクセスの良さとコンパクトな地域運営ができる町だと思う。その特徴をさらに伸ばすコンセプトで総合計画を策定するとよいと思う。他の市町と競争するため多岐に手を伸ばすのは得策ではないと考える ○内容をもっとシンプルに	
住民参画について（計画への参画、施策・事業としての参加・参画）	12
○若い人の意見やアイデア等の盛り込んだ計画になればと思う ○説明会やワークショップなどを開催しても、区長さんや行政組合長さんなどの参加する人が決まってしまうので、対面イベントの結果よりも町内全体を対象としたアンケート調査結果を重視して計画を策定してほしい ○若者の声に耳を傾ける ○地域での地道な活動や話し合いが将来、新たな活動や地域の様々な活動の担い手を生んでいくことに繋がっていくと思うので、そこに重点をおいて計画すべき ○町民の方はあまり行政について興味がない方が多いと思う。時間があれば町民全員にアンケートを実施して現在の傾向を確認するのは難しいでしょうか ○町外在住で基山に働いている人に、より郷土愛が伝わるような取り組みが出来たら良いと思う ○若い世代に地域の行事や団体への参加が促されるようなものになればいいと思う ○安全や安心は行政側から一方的に与えられるものと思っている住民がかなり多くいると感じているが、交通ルールの遵守やマナーの向上、地域の防犯活動、清掃活動など自らの努力も必要であると認識してもらい、行政と個人が足りない部分をお互いに補完しあえば、より魅力的で住みよい町になると思う ○まちづくりチェックシートで取り組んだ分だけ、何かのポイント還元になるような特典があると（5ポイントで〇〇、20ポイントで名誉町民）モチベーションがあがるのでは ○総合計画は町全体の将来像を示すものであり、その実現には町・町民それぞれ責任・役割があると思う。具体的な施策の中に町民の役割も記載すればもっと親しみやすい計画になるのではないかと	

意見例	件数 (件)
住民参画について（計画への参画、施策・事業としての参加・参画）（つづき）	
○障害者の支援や外国人との交流など経験のないまちづくり活動にどうして自分は参加していないのか、と考えたら、誰か知人に誘われたら行ったのかも知れない。町内の一斉清掃とはちょっと違うが、みんな参加するものは出るだろう。町内で眠っている人材を掘り起こすには、あなたに協力して欲しいのアプローチが必要なのではないだろうか。たとえ当てずっぽうでも何か化学反応をおこすかも知れないので裁判員制度みたいにランダムに指名してまちづくり活動に参加依頼する制度を創設したらいいのでは。パスは1回のみみたい。 ○私の業務については、イベントを多く開催していますが、町民の協力があってからこそイベントが成り立っていると思います。文化祭や音楽祭等のイベントが協働のまちづくりを考えた時に、良い例になるような気がした	
施策・事業内容	11
○宅地の造成など中心部の開発はどんどんされてあるが、調整区域部分の整備や高齢化、人口の減少をどうするのか、呼び込むためのPRばかりで今住んでいる人を置き去りにしているのではない ○今までの計画で、上手くいかなかったものや、現状とそぐわないものを次計画で残すのではなく見直しした方がいいと思う ○道の駅があったらいいなと思う。農作物、特産物とか多くある町なので活かして欲しい ○子どもの数に対する受け皿の整備（保育所等、小学校） ○高齢者、核家族が多いので、年代の違う人との交流の場を大きく設けてみるのはどうか。各区となると交流しづらい、出たがらない人も多いため。使われなくなった畑や田が多いので、小さい区画で分けて貸出せるようにしても良いのでは、と思います。（畑をしたい、と言う移住者をよく見るので） ○若い人も高齢者も気軽に立ち寄れる場所を増やして欲しい（移動方法も含め）。一人暮らしや老人の集まる場所が多くなる対策を願う ○皆さんが住みやすい町、孤立等がない町づくり、情報社会に適応できる取り組みを多く発信して欲しい ○積極的に空き家対策を行うべきだと思う。難しい問題ですが、やれないことはないと思う ○子どもの医療などの子育て支援に力を入れているが、教育にも力を入れて欲しい ○基肄城跡巡りをお勧めしたいが、例えば草スキー場に車を置いて基肄城を巡って水門まで行くと、そこから草スキー場まで戻るのは体力的に非常に厳しいため、お勧めすることが出来ない。その逆もお勧めできない。車で行かなくてもよいような取組が必要。草スキー場と水門へ定期的バスを設置する ○個人商店・町内物産店等と大型商業施設を組み合わせ、行政の参加するまちづくり	
職員の意識啓発	4
○職員全員が総合計画を基に業務を行っているという意識が必要 ○全部の内容を理解することが難しいと思うので、スポット的な職員勉強会など開催すると理解が深まっていくのではないかなと思う ○総合計画の内容を日常の中で意識する機会が少ないなと思う ○総合計画を知らない。職員が知らない＝町民はもっと知らない。計画を1つに絞る	
その他	3
○移住（転入）される方の住みやすい環境だと定住につながるのではないかと思います。田舎の良いところを感じてもらって悪く思われそうな所を受け入れてもらえたらWIN WINではないかと ○住民への日頃の活動 ○日頃の業務以外の突発性の懸案をスピード感ある体制にするため「すぐやる課」みたいな部署が必要	
合計	61

② 今後の町の人口のあり方

問8 多くの自治体で人口減少が深刻化する中、基山町の近年の人口は1万7千人台で比較的安定的に推移しています。今後の町の人口のあり方についてどのようにお考えですか。

- 「現状程度の人口規模を今後も維持できるような取り組みを進めるべき」が52.4%で最も高くなっています。また、「今後の人口減少は避けがたいので、人口減少を前提にした取り組みを進めるべき」(22.5%)と「可能な限り人口増加を目指した取り組みを進めるべき」(19.3%)は、大きな差がない結果となっています。
- 年齢別でも居住地別でも「現状程度の人口規模を今後も維持できるような取り組みを進めるべき」が最も高くなっています。また、「人口減少前提の取り組み」が「人口増加を目指す取り組み」より高いのは、年齢別では“50歳以上”を除く各年齢層で、居住地別では“基山町内”となっています。

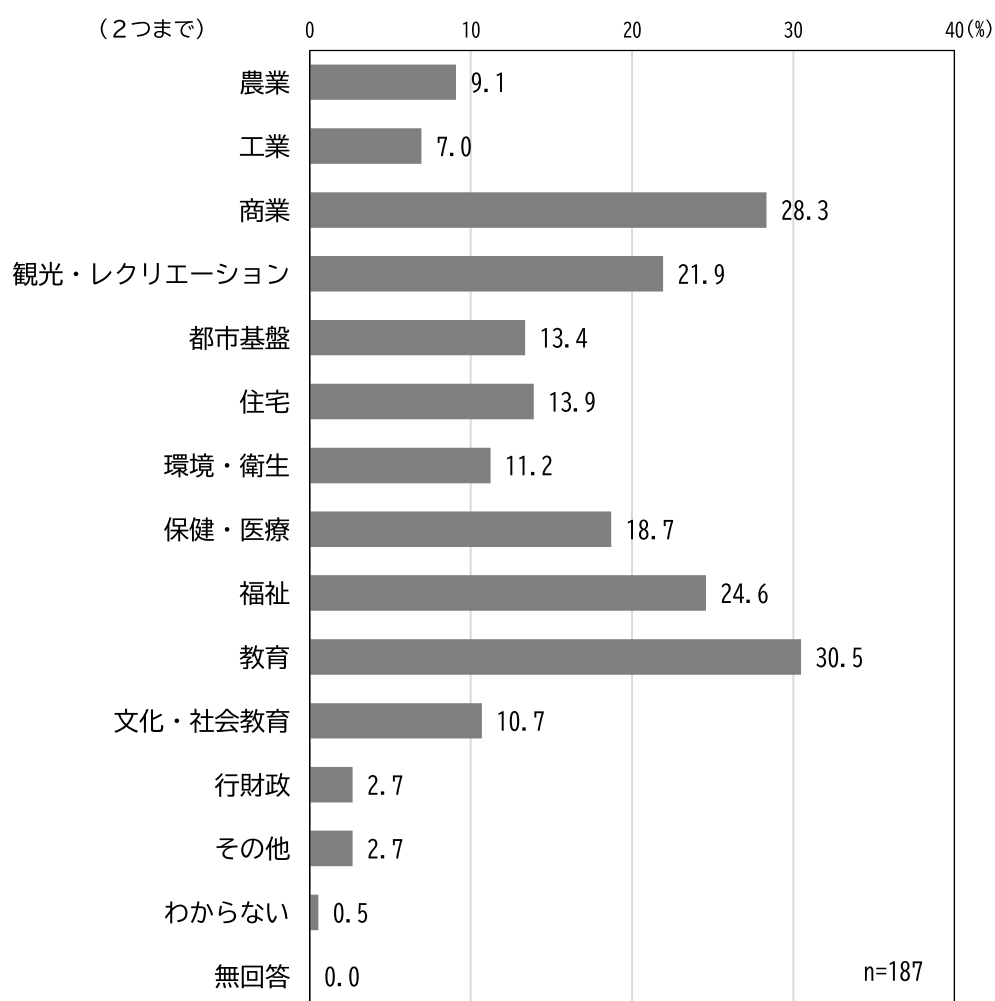


		問8 今後の町の人口のあり方				
合計		可能な限り人口増加を目指した取り組みを進めるべき	現状程度の人口規模を今後も維持できるような取り組みを進めるべき	今後の人口減少は避けがたいので、人口減少を前提にした取り組みを進めるべき	わからない	無回答
全体		187 100.0	36 19.3	98 52.4	42 22.5	8 4.3
年齢	30歳未満	27 100.0	6 22.2	11 40.7	7 25.9	2 7.4
	30歳代	41 100.0	7 17.1	20 48.8	12 29.3	1 2.4
	40歳代	49 100.0	9 18.4	26 53.1	10 20.4	3 6.1
	50歳以上	70 100.0	14 20.0	41 58.6	13 18.6	2 2.9
	50歳以上	70 100.0	14 20.0	41 58.6	13 18.6	2 2.9
居住地	基山町内	121 100.0	21 17.4	63 52.1	31 25.6	5 4.1
	基山町外	66 100.0	15 22.7	35 53.0	11 16.7	3 4.5

③ 魅力的な町にするため、力を入れるべき分野

問9 基山町を一層魅力的な町にするために、今後どの分野に力を入れるのが良いと思いますか。
(2つまで)

- 「教育」が30.5%で最も高く、次いで「商業」(28.3%)、「福祉」(24.6%)、「観光・レクリエーション」(21.9%)と続きます。
- 年齢別に最も高い分野をみると、“30歳未満”は「商業」と「観光・レクリエーション」(共に40.7%)、“30歳代”は「商業」(43.9%)、“40歳代”は「福祉」と「教育」(共に32.7%)、“50歳以上”は「教育」(30.0%)となっています。
- 居住地別では、“基山町内”は「教育」(30.6%)、“基山町外”は「商業」(33.3%)となっています。



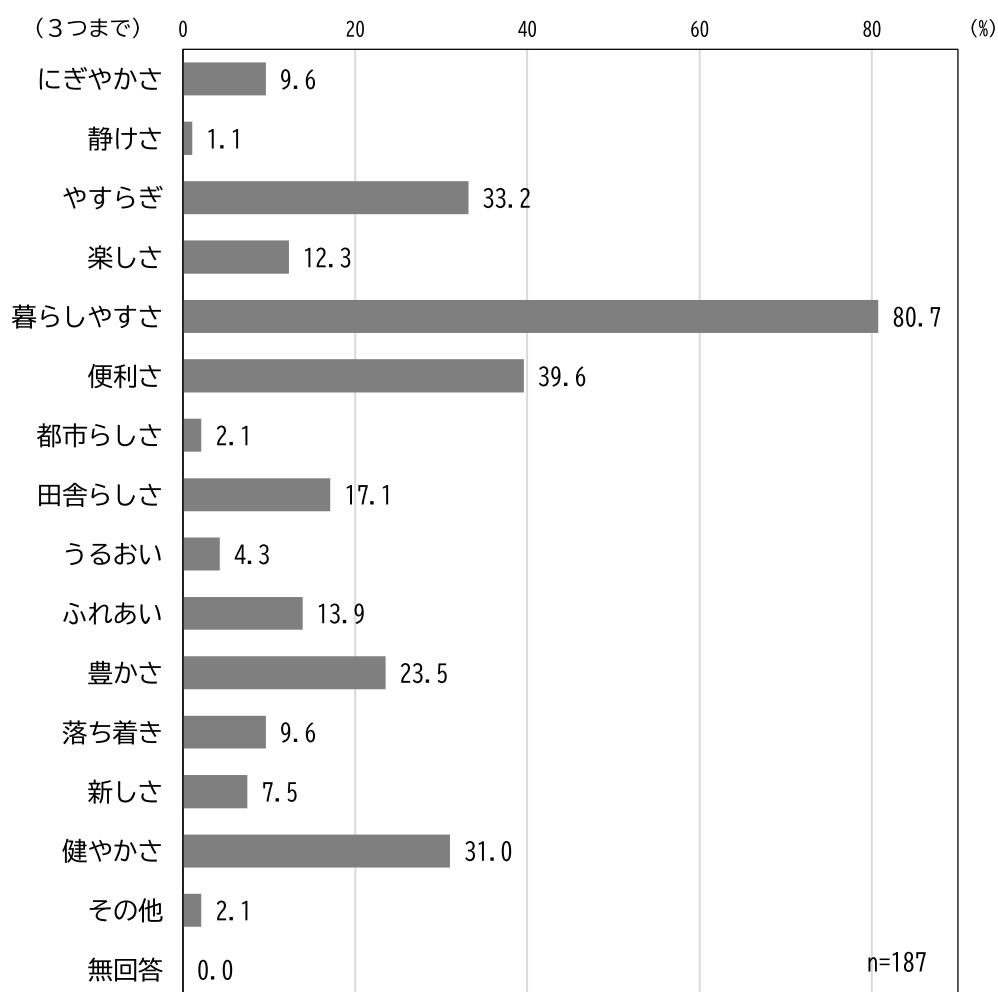
		合計	問9 魅力的な町にするために、力を入れる分野							
			農業	工業	商業	観光・レクリエーション	都市基盤	住宅	環境・衛生	保健・医療
全体		187 100.0	17 9.1	13 7.0	53 28.3	41 21.9	25 13.4	26 13.9	21 11.2	35 18.7
年 齢	30歳未満	27 100.0	2 7.4	3 11.1	11 40.7	11 40.7	0 0.0	6 22.2	4 14.8	2 7.4
	30歳代	41 100.0	4 9.8	2 4.9	18 43.9	5 12.2	9 22.0	7 17.1	3 7.3	8 19.5
	40歳代	49 100.0	3 6.1	3 6.1	13 26.5	7 14.3	6 12.2	9 18.4	5 10.2	9 18.4
	50歳以上	70 100.0	8 11.4	5 7.1	11 15.7	18 25.7	10 14.3	4 5.7	9 12.9	16 22.9
居 住 地	基山町内	121 100.0	14 11.6	9 7.4	31 25.6	23 19.0	17 14.0	21 17.4	15 12.4	19 15.7
	基山町外	66 100.0	3 4.5	4 6.1	22 33.3	18 27.3	8 12.1	5 7.6	6 9.1	16 24.2

		合計	問9 魅力的な町にするために、力を入れる分野						
			福祉	教育	文化・社会教育	行財政	その他	わからない	無回答
全体		187 100.0	46 24.6	57 30.5	20 10.7	5 2.7	5 2.7	1 0.5	0 0.0
年 齢	30歳未満	27 100.0	3 11.1	7 25.9	1 3.7	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	41 100.0	7 17.1	13 31.7	5 12.2	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0
	40歳代	49 100.0	16 32.7	16 32.7	4 8.2	2 4.1	1 2.0	1 2.0	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	20 28.6	21 30.0	10 14.3	1 1.4	3 4.3	0 0.0	0 0.0
居住地	基山町内	121 100.0	26 21.5	37 30.6	15 12.4	4 3.3	5 4.1	1 0.8	0 0.0
	基山町外	66 100.0	20 30.3	20 30.3	5 7.6	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0

④ まちづくりを進める上で、特に重視すべきこと

問10 基山町のこれからのまちづくりを進める上で、特に重視すべきことは何だと思いますか。
(3つまで)

- 「暮らしやすさ」が80.7%で最も高く、次いで「便利さ」(39.6%)、「やすらぎ」(33.2%)、「健やかさ」(31.0%)と続きます。
- 年齢別でも居住地別でも、「暮らしやすさ」がそれぞれ最も高くなっています。また、全体で上位にあがっていた「便利さ」は年齢別では“40歳代”(46.9%)が、「やすらぎ」は“30歳未満”(44.4%)が、「健やかさ」は“50歳以上”(37.1%)が、それぞれ他の年齢層に比べて高くなっています。



		合計	問10 まちづくりの推進で、重視すべきこと							
			にぎやか さ	静けさ	やすらぎ	楽しさ	暮らしや すさ	便利さ	都市らし さ	田舎らし さ
全体		187 100.0	18 9.6	2 1.1	62 33.2	23 12.3	151 80.7	74 39.6	4 2.1	32 17.1
年 齢	30歳未満	27 100.0	6 22.2	1 3.7	12 44.4	4 14.8	20 74.1	11 40.7	0 0.0	3 11.1
	30歳代	41 100.0	5 12.2	0 0.0	13 31.7	4 9.8	34 82.9	16 39.0	2 4.9	9 22.0
	40歳代	49 100.0	3 6.1	1 2.0	16 32.7	4 8.2	40 81.6	23 46.9	0 0.0	6 12.2
	50歳以上	70 100.0	4 5.7	0 0.0	21 30.0	11 15.7	57 81.4	24 34.3	2 2.9	14 20.0
居 住 地	基山町内	121 100.0	13 10.7	1 0.8	38 31.4	15 12.4	98 81.0	50 41.3	1 0.8	19 15.7
	基山町外	66 100.0	5 7.6	1 1.5	24 36.4	8 12.1	53 80.3	24 36.4	3 4.5	13 19.7

		合計	問10 まちづくりの推進で、重視すべきこと							
			うるおい	ふれあい	豊かさ	落ち着き	新しさ	健やかさ	その他	無回答
全体		187 100.0	8 4.3	26 13.9	44 23.5	18 9.6	14 7.5	58 31.0	4 2.1	0 0.0
年 齢	30歳未満	27 100.0	4 14.8	0 0.0	4 14.8	3 11.1	4 14.8	6 22.2	0 0.0	0 0.0
	30歳代	41 100.0	0 0.0	4 9.8	9 22.0	5 12.2	6 14.6	12 29.3	0 0.0	0 0.0
	40歳代	49 100.0	0 0.0	9 18.4	12 24.5	5 10.2	2 4.1	14 28.6	3 6.1	0 0.0
	50歳以上	70 100.0	4 5.7	13 18.6	19 27.1	5 7.1	2 2.9	26 37.1	1 1.4	0 0.0
	基山町内	121 100.0	5 4.1	16 13.2	33 27.3	13 10.7	4 3.3	42 34.7	2 1.7	0 0.0
	基山町外	66 100.0	3 4.5	10 15.2	11 16.7	5 7.6	10 15.2	16 24.2	2 3.0	0 0.0

⑤ これからのまちづくりについての意見・アイデア等

問11 基山町のこれからのまちづくりについて、ご意見・アイデア等があればご記入ください。

- 55人から67件の記述がありました。

意見例	件数 (件)
なっってほしいまち、望ましいまちづくり	21
○便利で暮らしやすく楽しい町なら年齢を問わず誰でも住みたい町になるはず。現実には色々な人がいて思うようにはいかないことばかり。でも住民のために努力するのが職員の役目ですね ○福祉、農業、文化、何でも良いので〇〇は基山町と言えるシンボリックなものを確立すべき ○人生100年時代を目指して、活力ある町づくり、健康維持を土台に町の良さをもう一度振返り、観光、商業に力をいれていくことが大事なのではと思う ○今の自然環境を大切に残し、5号線バイパスより山手の自然豊かな農村と、利便性を重視した住宅地とを今以上に分けて、まちづくりを考える ○農地が宅地に変わり自然が少しずつ失われてきていると感じる。人口減少は避けられないので、健康寿命の延伸など町民が更に元気で暮らせるまちづくりを行って欲しいと思う ○「可能な限り人口増加を目指した取り組み」を進めても、現状の人口維持ができれば最良の結果であると思われるので、積極的な人口増施策を引き続き推進していくべきだと思う ○基山町に住んで良かった、来て良かったと思われるようなまちづくりを推進していただきたいと思う ○引き続き町民が満足していただけるような、各種まちづくりを行っていれば、より良い基山町になると思う ○町内には、福祉やインフラ整備等様々な分野においていまだ議題がある。まずはその課題を少しでもなくすことを町の振興と位置付けてまちづくりを行っていくべきだと思う ○今、基山町に住んでいる人が「基山に住んでいることに誇りに思う」ようなまちづくりに重点を置いた施策を提案していきたい ○基山町のメリットはコンパクトシティで「ちょうどいい」暮らしができる点だと思う。また、人口約17,500人は行政の目が行き届きやすい規模感で、町民との距離感が近い点もメリットだと思う。福岡市近郊にあることから交通利便性も良く、まだまだ移住者の受け皿として人口増が見込めるため、第6次総合計画の期間においても、引き続き移住定住と子育て支援に力を入れつつ、増加する後期高齢者への手厚い福祉施策により、「ゆりかごから墓場」まで、生涯を通じて安心して暮らせる町という方針を掲げたい ○若い人を中心に自治会に入会しない人が多いと耳にする。これから若い世帯を呼び込むためには地域住民の自治（消防団）に依存するまちづくりから、ICTを活用し行政から欲しいサービスを欲しい時に直接受け取れる効率的なまちづくりへの転換が必要になってくるのではないかな ○交通の充実とコンパクトさによる日常生活の便利さは日本全国で見ても上位だと思う。他の強みも生かす必要があるとは思いますが、これ一本だけでも十分なほど物凄い強みだと個人的には感じるの、引き続きこの強みをアピールしていくことが重要だと思う ○少子高齢化が加速する中で、持続可能なまちづくり、町民がささやかながら幸せを感じるためのまちづくりを望む。ふわっとしていて申し訳ないですが、福祉はもちろんですが、教育・文化に力を入れて、町民が自分なりの日々の楽しさを見つけられる町になればと思う ○商業化や交流人口増を目指すよりも、自然が豊かで暮らしやすいまちづくりが結果的に人口の維持や住民満足度の向上につながると思う ○町外在住ですが子どものイベントや公園利用で基山にお世話になることが多い。変化というよりは今の状態を維持してほしいなと思う	

意見例	件数 (件)
なってほしいまち、望ましいまちづくり（つづき）	
○高齢の住民が便利に楽しく暮らせる町を目指してもらいたい ○誰もが将来に希望（多様性や既存の枠にとらわれない）をもって過ごせるようなまち。誰もが挑戦でき、将来に希望が持てる受け皿となれる基山町の構築 ○人口で言うなら、自然動態では毎年100人減少するので、出生率をあげる取組が1丁目1番地だと思う。でも、今年や来年で劇的に改善することは不可能なので、子育て施策と福祉が充実した町で他市町と差別化が図れるかが未来の鍵となる。楽しいところ、にぎやかなところには、呼ばなくても人は集まる。町外から、町内から問わず、子どもが多い町を目指すといいと思う。そのためには、少額ではなく、基山で育てた子どもが20才を迎えたら、一人300万円お祝い金を出すくらいいいのではないかな。それ以上に育てるお金がかかってますから ○第5次総合計画では、移住定住人口の増加が主な目標となっていたが、今後は人口減少の現実を見据え、コンパクトな基山町で暮らす幸せや楽しさに付加価値をつけることが必要だと思う。”人口が減っても幸せ”であるために人と人との繋がり再生が最重要ではないだろうか。ボランティアやコミュニティ、地域活動、グループ活動等の推進と支援施策をご検討いただきたい ○基山町は今までどおり都会と田舎のバランスを保った方がいいと思っている	
行財政運営	10
○新しいことをたくさん取り入れようとすることも必要だとは思っているが、保育園や役場の実態に目をかけてみるのはいかがですか。職員が足りなければ、新しいことをしたくても出来ないのでは。今、現在の保育士が足りていないのに「少子高齢化だからこれから子どもが減って保育士が余るほどになってくるよ」なんて言われても今はどうしろって言うんですか。命を預かる仕事だということを忘れないでほしい。定員オーバーしているんだったら待機児童にすべき ○これからのまちづくりに関係していなかったらすいません。町内でのイベント時に職員が会場スタッフとして休日出勤する事が当たり前になっているが、駐車場の誘導係やワクチン集団接種の入口付近の案内係など、職員でなくても務まる軽作業に関してはアルバイトを募集しても良いのではないかなと思う。そうすることで人件費も抑えられて職員の休日出勤も減り、従業員（職員）満足度が上がると思ったので意見としてあげた。（休日出勤を自ら希望する方もいますが、全員がそうではないと思うため） ○魅力的なまちづくりを進めていくには、まず、その自治体の職員が生き生きと働けるような環境作りが必要ではないか。今のように皆、疲弊した状態ではよいパフォーマンスが出来ないと思う ○イベント・大会・インフラ等の維持に関して取捨選択が必要だと思う ○町の公共施設は維持管理を考え身の丈にあった規模の建物になっている。が、人口増を進めるあまり公共施設によっては受入準備が追いついていないように感じている。利便性を考えると市街地に集中することは仕方ないかもしれないが、町全体のバランスも考えないと偏ることでコンパクトシティの良さが失われないかなと思う ○基山町の交通の便がよく住みやすいと言われているが、福岡都市圏はもっと住みやすいので、人口増加の施策をするならば、人々のニーズについてさらに検討する必要があると思う ○スマホ教室を通じてデジタルデバイスの問題を実感した。日常や行政の手続きでもデジタル化が進んでいるため、置いてけぼりになる高齢者が増えていくと思う。高齢者の視点に立てば、デジタル機器などを使うことは簡単なものではないので、デジタル化に向けた支援も重要だと考える ○シニア・子育ての方へのプロジェクトは多いが、50～60才代へのフォローがないように日頃感じる ○町を支える最重要な仕組みとして、将来を見据えた人材確保が必要 ○補助金や制度をねじまげて利用しない	

意見例	件数 (件)
観光・レジャー	7
○道の駅とか古民家カフェとか観光したくなるものがあれば、基山ブランドっぽいかな。良いものであれば必ず話題になるはず ○キャンプ場近くの荒廃棚の一部をグランピング施設として再利用。また今は星座が一層輝いて見えるのでグランピングと合わせて天体観測イベントを開催 ○県外の友人から「なんで基山町には道の駅がないの」「田舎ならではの古民家カフェは基山にはないの」という話をよくされる。道の駅の話はこれまで何度も話題にあがっていると聞きますが、私の周りでもよく聞くので、ブランド化を目指すなら力を入れる一つかなと思う ○中山間地を観光やレクリエーション拠点としての活用 ○特別史跡基肆城跡を体感できる仕組みづくりは、例えば「VR基肆城」の制作および活用。「西の都」事業との連携強化 ○基山町にはSA、JR駅などがあるのでSAや駅といった拠点から観光地へバスやタクシーなどで繋ぐと観光客も寄りやすいと考える。また、観光客がきても軽食やスイーツを提供できる店やお土産を買う店が無いと、観光客を癒すことが出来ていない。このような施設を積極的に作っていくことが良いと考える ○観光資源の発掘	
地域活動、住民参加・参画	6
○地域おこし協力隊、集落支援員制度を正しく使う ○お年寄りが段々と外に出づらくなってきているのを耳にするのでもっと活力が出るような楽しいふれあいが増えたらいいなと思います。お年寄り×子どもは実りが多いと思うので、そんな関わりの場が増えて欲しい ○伝統行事、各種行事に参加される方も固定化。1区、2区、7区などは地域ぐるみで子育てをしようという地域性があるように感じる。交通立番も子どもがいる世帯だけではなく、地域全体でされていると聞いた。(2区だけかも)子ども達も地域のために何かできないか。例えば高齢者の方が玄関前までゴミを出したら、集積所までは近所の中学生在が運ぶ、災害の時に声をかける。赤ちゃんから高齢者までのみんなが過ごしやすい、温かい町づくりができると、「基山町っていいなあ」と思ってもらえると思う。 ○地の者の意見ではなく、基山を選んで住んでくれている人の意見に重きをおくと基山はもっと魅力的な町になるのではないかな ○まちづくりにおいて、自治会（区・組合）の役割は大きいと思っている。しかし、組合外は増加し、一方で役員の担い手がなかなかみつからない状況が多々見受けられている。町担当及び自治会の役員共に限られた任期なので困難ではあるが、自治会（区・組合）と一緒に長期的な自治会の展望及び課題の応対策を検討する必要があると考える ○町道の草刈りなど地域負担にしている労務の協働化や委託化（地域の負担軽減）	
土地利用、住宅関連	5
○基山町のポテンシャルは高いので多くの方が住める土地開発をもっと進めるべき ○今後増加が見込まれる、けやき台住宅の空き家対策はどのようにしていくのか ○駅周辺（東西）の再整備により人が集まり、消費や交流が生まれる仕組みづくり ○けやき台も以前は新興住宅地で多くの方が移住されてきたと思いますが、その分現在は高齢化が進み、空き家も多くなってきたと感じます。それに比例して、けやき台の子どもの人口も減り、子どもクラブの存続も危うくなるのではないかと思います。農地等を新しく宅地にするのではなく、空き家を活用した移住を進めていくことが、良いのではないかな ○住人増加の地区が偏っているように思う。増加していない地域にも人が移住してくるような環境づくりをして欲しい	

意見例	件数 (件)
教育・文化	4
○基山で生まれ、基山で育った子どもが、今後も地元の歴史、文化、伝統を語れるようにしていきたい ○基山の子ども達が大学や就職で他市町に出て行ったとしても「基山で育って良かった」「基山出身を誇りに思う」ような教育ができればいいなと思う ○小学校や中学校は町内には立派なのがあるが、公立の教育施設の中でも高校が町内にないので誘致できたら子ども達も通いやすいなと思います（私立の東明館は別として） ○幼児から高齢者まで年齢にあわせた独自の教育プログラムによる人材の育成	
商業施設	3
○まちなか公民館を廃止し民間の商店を入れる ○基山駅東側にコンビニ以外の店舗を誘致する（コンビニを排除することではありません） ○お店の数、大型スーパーやショッピングモールなどがあれば便利だと思う	
保健・医療	3
○町民の健康増進のために各地域にラジオ体操推進会等を立ち上げ町全体で取り組む ○子育て世帯も増えてきているのに、町内に小児科専門医がなく、近隣市町村まで行かなければならない。産婦人科専門病院から小児科専門の病院等が一体的にあると、子育て世代にとっては、遠くまで行かずによくなるとともに、安心して子育て・生活できるのではないかなと思う ○久留米医療圏の中に、沢山の病院があり難しいとは思いますが、町内に2次病院があれば良いと思う	
道路・交通	2
○小郡市等で導入しているオンデマンドバス「のるーと」を導入できないか ○町道塚原・長谷川線を延伸して弥生が丘へ直で行けるようにする	
子育て支援	2
○子育て支援に力を入れていく上で、待機児童を出さない事や安心して預けることが出来るよう、受け皿となる保育施設の充実を計ってほしい ○引き続き、子育て支援など、未来への投資になりうる施策については町独自のものも含め、積極的に取り組んでいってほしいと思う	
情報発信・PR	2
○基本的に今のままで住みやすいと思っているが、PRの方法があればいいなと思う ○交通の便が良いこと、福岡都市圏に近いことをあまり知られていない。立地の利便性の認知度を上げるべきだと思う	
その他	2
○現在、外国人が多く就労し、住んでいることを意識している方々も多いと思う。しかし、今のところ、交流等の目に見える取組をしていないと思うので、ふれあいフェスタ等の機会を活かすことも考えてみたらどうかと思う ○基山から離れている基山出身の人が外からみた基山をどのようなことに関心があるのかを調べられると参考になると思う	
合計	67